



☎869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100
社会福祉法人 三気の会 三気の里

インフォームドコンセント

理事長 田中 稔

このインフォームドコンセントという言葉は、この頃色々な所で見聞きする様になりました。日本語の訳は「説明と同意」という事です。最近、多く使われたのはタレントの逸見さんのガン死亡記事の中でした。この事件の様にインフォームドコンセントという事が大きな問題となっている場面の多くが医療の世界です。

最近の医療は仕組みが複雑になっており、専門化が進んでいます。ベッド数、何百という大きな高度医療を行っているセンター病院と、ベッドを持たず外来のみで地域の中で家庭医として、住民の方々の健康管理を受け持っている一般開業医とが、連携して仕事をしています。又、一般開業医もお互いの得意とする分野で紹介という形によって助けあっています。この頃は、高齢者の患者さんが増えました。お年寄りの方に病状、治療方針、薬、食事等理解して頂くという事は簡単ではありません。時間をかけて繰り返し話をする必要があります。それでも、多くの医療訴訟が起こっています。

それでは福祉の世界におけるインフォームドコンセントはどうなっているのでしょうか。どんな施設でもそれが設立されるに当たっては、色々な経緯があります。各々、設立の目的、理念といったものを持っています。その理念の実現を目指して職員を育て、療育理論、療育実技を工夫しています。障害の重い入園生を多くかかえ、限られた職員数で自らの考える理想を実現する為に、日々苦悩しています。これが施設の現実の姿です。

一方、施設に子供さんを預けられる保護者の方もそれぞれに子供の事を思い、自分達の考える子供に合った施設を探されます。

施設の考える療育理念、方針と保護者の考えられる子供の為の施設とが合意できて、初めて施設は子供さんを預かり、保護者は預ける事になるのです。こういう話し合いは入所決定以前の段階として必要なのです。

先日、ある福祉事務所から入所依頼の書類が送ってきましたが、それに判定書が付いていませんでした。問い合わせしたところ入所依頼は決定だから必要ないとの事

です。初めてのケースです。行政が決めた事だから、施設も保護者もこれに従えというのは少し乱暴なやり方です。判定書が無ければどういう子供さんなのかも全くなりません。私達の施設が、この子供さんに合っているのかも判断出来ません。保護者の方とお会いして、私達の話を聞いて頂いた結果、合わないと言った保護者が逆に入所をお断りになる事もあるのです。施設の役割の分化、専門化が進む中で福祉の世界でのインフォームドコンセントは欠かせない事なのです。

開園記念祭

決定！！

4月24日(日)三気の里にて第7回開園記念祭を行います。今回は80名増員になり新たな出発として大々的に行います。是非ご来園ください。



療育シリーズ

三気の里の療育

團長 土井尚典

三気の里の創設の趣旨は、自閉性障害をもつ人のために、①その療育法の研究模索と②入園して行く園生に健康で明るいおんびりとした暮らしの場を提供することと③外に向かって開かれた施設である。

療育と生活は切り離すことはできない。療育そのものが日々の暮らしであり、生活そのものが日々の療育と切り離すことができない。そして、園生一人一人が確かに生きた証しと、障害にどのように取り組んで来たかは、施設の大切な使命である。療育と生活を融和させなければならない。

自閉性障害の行動レベルでの特徴は臨床像として、①社会性の発達障害②言語発達及びコミュニケーション能力の障害③興味や趣味が極度に狭められた特異的行動パターンに陥り易い障害である。このような障害特徴があっても、日々の暮らしの中でのおんびりと暮らしに行くためには次の3点が少

しても改善される必要がある。①人とやりとりができる(コミュニケーション)②自分をコントロールできる(自己コントロール)③人と一緒に暮らせる(問題行動の是正と軽減)

そこで、三気の里では指導の目標を次の点に置き、動作法から学んだ技法や必要な技法を学び、また薬物療法を借りて園生の援助を行っている。

①コミュニケーション

イ)指示に従う

ロ)人に気持ちを伝える

②自己コントロール

イ)一所懸命頑張る(我慢できる)

る)

ロ)場面に合わせて動く

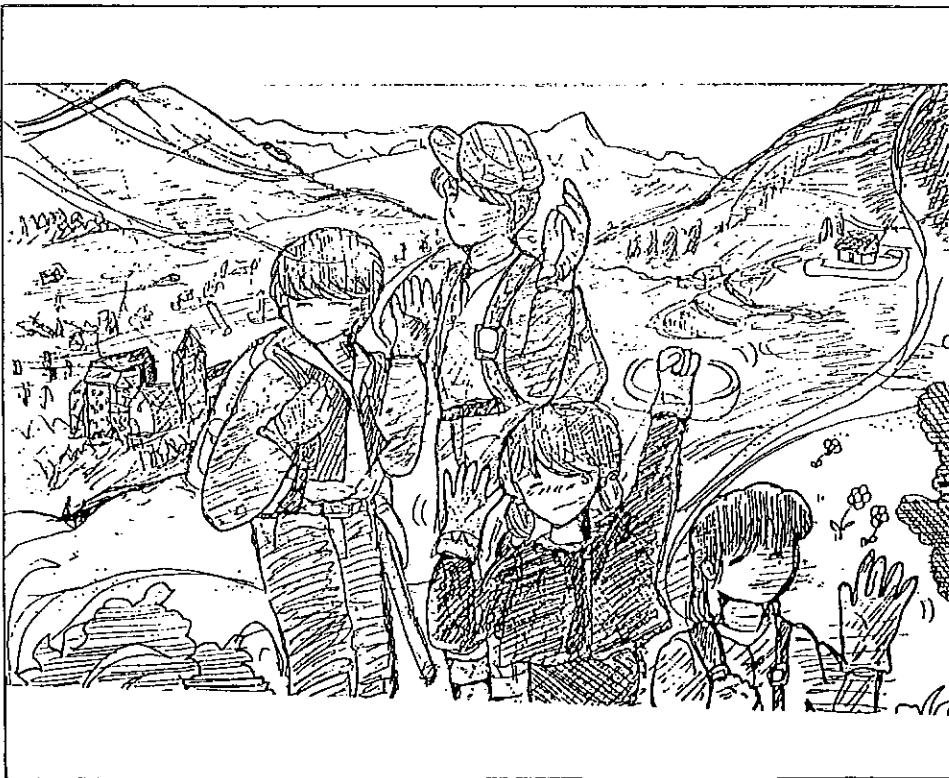
③問題行動の是正と軽減

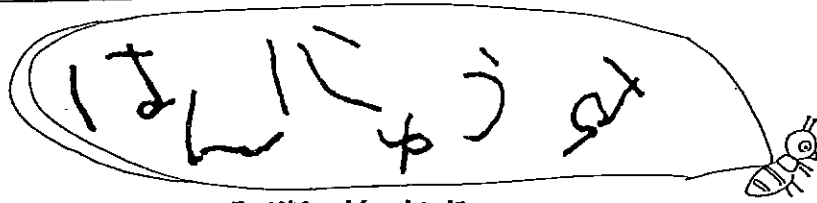
上記の三点の指導目標は他の発達障害の人にはなんでもないこと

かも知れないが、自閉性障害には重大なことである。作業指導や生活指導をする指導場面の出発点を作るが大変なのである。更に作業指導や生活指導をして行く途中で、3つの行動上の障害は程度の差は有っても、絶えず付きまといて来る。

三気の里では園生の問題行動と

取り組む中で①指示に従う②一所懸命頑張るを目標として指導して来た。作業指導や生活指導の中で③自分の気持ちを伝える④場面に合わせて動く、をやって来た。今後とも出発点作りをしながら、のんき・こんき・げんきでやって行きたい。





1 班 旅立ち

桜の花が咲くたよりが聞こえる頃になると、年末とは異なる慌ただしさになる。行く人来る人、種々な人間模様が繰り広げられることとなる。

1班でも、職員の移動がある。黒沢の退職、高橋（2班へ）。また、来る人も新たに、坂本（2班より）、新人職員としては、平川（？）、吉田、古田（新卒）といった顔ぶれとなる。

4月より、増床に向かって園生、職員ともども気をひきしめ新入園生、職員を向かえようと準備をしている。来たれ新入園生！

さき頃、今年度最後のレクとして市内にでかけた。ショッピング、食事、カラオケと盛りだくさんのメニューでしたが、混乱もなく、ゆっくり街を散策できました。

ショッピング、食事の費用は、皆で作業した収入でまかなうことができました。新たなる年も楽しい経験がひとつでも多く出来るよう、手を取り合って頑張ろうと、カラオケでも大きな声で歌いました。追伸、普段あまりカラオケでは、つまらなそうな顔をしていた上田さんが、職員も舌をまくほどの演歌の星（王将他）だったことに、おどろきました。一同、脱帽といったところです。 坂井

2 班 夢に向かって

毎日の作業の中で黙々と作品製作をし、木に触れていると、なにか暖かいものを感じてくる。そして話題になることは…高原のログハウスで暖炉を囲みながら、皆で楽しく語らいて木工品を作る。工房の名前は「きこりクラブ」…。想像の中のその雰囲気は、2班の目指す「楽しく、暖かい」仕事場であって、今、その理想に向かって一歩ずつ歩んでいる。

平成6年4月1日、2班も又、リニューアルスタートする。メンバー構成は、現在の園生12名は変わりなく、職員では5年間在籍した坂本指導員が1班へ、変わって高橋指導員が2班のスタッフに加わる。そして、新しい仲間となる新入園生の顔ぶれもある。（新入園生は次号にて紹介致します）

「のん気」「根気」「元気」を地で行く（特に「のん気」？）、と自負する2班。のん気そうなその中には、作業の厳しさや我慢することにつきまとう。これからはずっと、三気の里の日常生活の中の日課として続いていくのであるから、よりやり甲斐のある作業の場を築き上げていきたい。

新たな2班の旅立ちに際して、2班のスタッフで話したひとこまである。

松下

3 班 春風満帆

三気の里が4月1日から80名定員となって、新たなるスタートを切るに当たり、3班にも“春を告げる風”が吹き始めました。園芸班には有働・園岡の新人職員と、農耕班の卒業生／宏幸君・武彦君・陽治君・泰成君の4名が強力な助っ人として加わる事になり、メンバーが7人に減って少し寂しくなった農耕班には新人職員の高田が加わって、4名の職員が「早く強力なメンバーおいで！」と首を長くして待っています。園芸班のハウスでは、長く厳しい冬を耐え抜いた花苗が、花壇に植えられるのを待つばかりに育っていますし、農耕の畑にはきれいに菜の花が咲き誇って（？）います。自然を相手に作業をする3班は、どの班よりも季節を感じて働けますが、やはり春は何かが起こりそうな、そんな楽しい予感で胸が膨らむ時期です。夏の暑さや冬の寒さ等つらい事も多いし、時には雨風さえ味方にならなければならない3班ですが、新たなるこの1年、みんなで力を合わせて頑張りたいと思っています。来年も再来年も胸に蓄みを膨らませて春を迎えられるように…

東

我が家のひな祭り

（思い出の中に）

井口チズヨ・佐和子

何年もした事がない雛祭り、遠い日の思い出。主人と下の娘に同じ事を「うちは雛祭りせんとに何書くとね？」と子供が大きくなるにつれ、人形に興味薄れた我が家にとって雛祭りは縁の無いものになってしまい、ちょっと寂しい気がします。でも、幼い頃のあの日の事、床の間に雛人形と青い目の人形、そして桃の花とひし餅を飾り「お雛さまきれいわ」と嬉しそうに手を叩いている二人娘の笑顔、白酒ならぬ梅酒の梅を食べ、足はフラフラ顔は真っ赤「久美ちゃん酔っぱらっとる」とゲラゲラと楽しそうな皆の笑い声、今でも目に焼き付いています。子供達も成人し、いつしか雛人形は我が家から消え去り、二人の娘に忘れられた青い目の人形だけが、久美の部屋の片隅に一人物悲しそうにたたずんでいます。又いつの日か、あの笑顔・笑い声が甦って来る事を願っているかのように、思い出をそっと心の扉に秘めて...



ニュー フエイス登場

（順不同）

石井康就

今度、熊本社会福祉専門学校を卒業して、四月から三気の里で働く事になりました。最初は、ご迷惑をかける事が多々あると思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



平川聖子

昨年六月に退職しましたが、再び三気の里で働くことになりました。四月から八〇名定員となる三気の里が、より良い施設になるように、私もこれまで以上に努力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



高田一道

熊本YMCA学院健康福祉科を卒業し、この度三気の里に勤務する事になりました。

担当は三班の農耕班です。農耕の事はあまり知りませんが、これから園生のみんなと一緒に少しずつ覚えて頑張っていこうと思えます。



吉田 真紀

三気の里での生活にも随分慣れ、楽しく働いています。今後ともスマイルとガッツで頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。



國岡紀代香

自分のカラーを出して頑張りたいと思えます。よろしくお願いします。



古田恵子

三月に県立保育大学校を卒業しました。三気の里で働くことを嬉しく思っています。これから多くの事を学び、経験し、笑顔を忘れないようにして頑張ろうと思えます。よろしくお願いします。



vegetable

有働和美

何かとご迷惑をおかけすると思いますが、何事にも積極的に、やる気と根気で頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願いします。



スペインヤル駅伝

田邊剛政

三月十三日(日)、大津町のオークス広場にてスペインヤル駅伝大会が催された。当園では、四・四歳のBコース(八区間)に一チームが出場した。一区間四〇〇m・六〇〇m・八〇〇mとあり、体力に応じて選手を選抜した。と言っても第二土曜日に全員帰宅だった為、大津町近辺の園生と有志で出場、それでもベストに近いメンバーで出場することができた。大会は前日の雨で地面が緩んでいたが早朝から大会関係者や父兄、ボランティアの御尽力で整備され、天気も晴れ間が広がり大会日和となった。スタートは頑張り屋のさゆりちゃん、アンカーは由美ちゃんと女性陣で固め、間に新ちゃん、やつちゃん、聡君、マコちゃん、ノリ君、博君と、それぞれボランティアや職員の伴走があったが自分の力を出し切って堂々の三位でした。表彰式では2班の木工班が製作した「太陽」「土星」「月」の型をしたメダルを胸にして皆「これ何?」と言いなながらも可愛いメダルが大モテでした。最後になりました

たが、大会関係者の皆さん、伴走でバテバテになった尚綱短大の皆さんどうもお疲れ様でした。また楽しい一時をありがとうございました。



スポーツ ステーション

山中美津代

毎週、何故か雪や小雨にたたられていた運動の日。マラソントレーニングコース(農道)に向かい寒さに震えていた皆も、春の訪れにより(道の脇には、つくし・菜の花が咲き乱れ)足取りが軽くなりました。

毎回、コースの一周目(750m)は、タイム測定をしました。(回を重ねる毎にタイムも縮まってきました)その後は30分間、自分のペースで走ります。全く止まる事もなく延々とマイペースで走る人、全速力で追い越して行ったかと思うと途中で立ち止まっている人など様々ですが、全員が自己最高で頑張っていました。初回3周しか走れなかったのが、回を重ねる度に距離が伸び、最高8周も走れる人が現れました。

スケートでは、レクリエーションで以前出掛けた時スケート靴さえはけなかった人が、今回スケート靴をはき、最後には氷の上でつまんで歩ける様になりました。今後も運動するといふ事を、大切にしていきたいと思えます。



食糧当主岩白農業中

四月増床に伴い、厨房の拡張工事の為、雑然としております。園生や指導員の皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。皆さんの協力により着々と工事が進められております。

私たち厨房職員も、新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

栄養の話



〈輸入米のおいしい炊き方〉
ふっくらご飯を炊くコツは、米

粒の中心まで充分に水を吸わせることです。外国産米のジャポニカ種は、国内産米と同様な浸漬時間ですが、インディカ種のお米(20〜30割のブレンドの場合を含む)の場合には、若干浸漬時間を長くした方がよいでしょう。また、時間がない時は、40度位のぬるま湯を用いると冬でも1時間くらいで大丈夫です。

村上

後援振込△△だより

入会のご案内

ご入会は、年間会費一人一口三千円以上となります。

振込方法は、左記のとおりです。

郵便振替 口座 熊本22508

名義 社会福祉法人 三気の会

☆新規御入会下さる皆様方へ

①三気の里の機関紙「たんぼぼ」をお送りします。

②行事等のご案内をします。

☆継続会員の皆様方へ

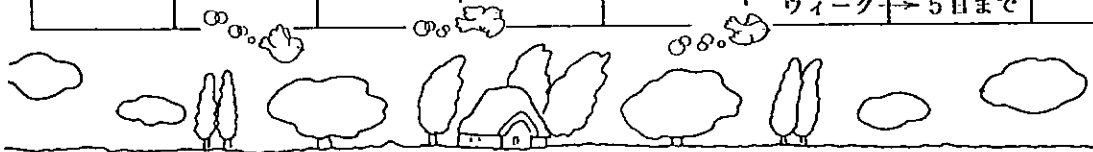
継続して会員の登録をします。

三気の里の皆は今年度も元気に過ごすことができました。これも皆様のおかげです。来年度もよろしくお願ひ申し上げます。



4月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
白 浩ちゃん、宏幸君、武彦君、緑恵ちゃん、誕生日おめでとう ◎ 11日(月)入園式 ☆ 24日(日)開園記念祭					1	2	
3	4 越前君君(21)	5 浩ちゃん君君(23)	6	7	8	9 保護者会 帰宅日	
10	11 入園式 宏幸君君(26)	12 越前君君(26)	13	14 誕生会 2班レク	15	16	
17	18	19	20	21 1班レク	22	23	
24 開園記念祭	25	26	27	28 3班レク	29 ゴールデン ウィーク	30 →5日まで	



ボランティア通信

3月20日(日)にボランティア学習会として、三角町にある自然の里へ奉仕作業に出掛けました。今回で4度目となったこの企画。毎年、行く度に新しい建物が増えていたり、変わっていく自然の里、毎年行くのが楽しみです。

この日の作業は、みかんの収穫をしました。眼下に広がる海を眺めつつ、8名の園生はボランティアさんと2人ずつペアになり、たわわに実ったみかんとをちぎってはコンテナに入れ、それをせつせと運ぶ組・収穫したみかんとをタオルで磨いては出荷準備を行う組に分かれて作業しました。汗を沢山かいて頑張った後に食べたみかんは最高の味でした。

今回は、初めてボランティアに来て下さった方が5名、いつも来て下さる方が3名の参加で、三気の里の皆と仲良くなってくれる仲間が増えていく事はとても嬉しい事です。もっともっと、この輪が広がって行けばと思います。

ボランティアの方々ご苦労様でした。また、自然の里の方々には大変お世話になりました。山中

(ボランティアありがとう)

☆生け花 西村栄子

☆冬季実技研修 中村正敏

☆散髪 坂本シマコ

☆清掃 遠山一恵

☆駅伝大会 岡野多江子 戸田理恵

小野菜子 河部 恵 今島美保

三池美智子

☆ボランティア学習会 中島 愛

戸北正美 井手上香 宮崎友美

片山孔兵 栗屋美保 森 隆子

岡野多江子 (敬称略)

編集後記

いよいよ私も編集部より卒業です。あまりの出来の悪さにもう一年という声もあります。

思い出すと、編集の夜は色々な事がありました。早く終わりそうだなという日に限って突如として火災報知機のベルが鳴り、編集はそっちのけ、避難訓練へと早変わりしたり。

本当に色々な事を勉強させていただきました。

山中

